

福岡市環境基本計画(第四次)原案に対する 市民意見募集(パブリック・コメント)の実施結果について

Ⅰ パブリック・コメント手続の実施概要

(1) 実施の目的

福岡市環境基本計画(第四次)の策定にあたり、市民との情報の共有を図り、市民の意見を反映させるため、パブリック・コメント手続によって計画原案を公表し、意見募集を実施しました。

(2) 意見募集期間

令和7年6月26日(木)から7月25日(金)まで

(3) 実施方法

① 計画原案の公表方法

計画原案を情報公開室、情報プラザ、環境局環境政策課、各区役所情報コーナー、入部・西部出張所において配布するとともに、市ホームページにも掲載しました。

② 意見提出の方法

意見については、郵送、FAX、電子メール、窓口への持参のほか、オンラインによる受付を行いました。

(4) 意見の提出状況

① 意見提出者数

32名

② 意見の件数

55件

【内訳】

分類	件数
計画総論	8件
【行動変容】環境行動を実践するまちづくり	11件
【事業者連携】環境経営を実践するまちづくり	1件
【脱炭素】カーボンニュートラルを実践したまちづくり	9件
【循環経済】地球にやさしい循環のまちづくり	7件
【生物多様性】多様性にあふれた自然共生のまちづくり	15件
【生活環境】安全で良質な生活環境のまちづくり	1件
【広域連携】九州・アジアとつながる環境協力のまちづくり	1件
その他	2件
合計	55件

2 市民意見要旨と意見への対応

■修正	□原案どおり	□記載あり	□その他	計
8件	17件	18件	12件	55件

凡 例

【意見への対応と考え方】

- 修正 :意見趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり :意見趣旨に基づく原案の修正がないもの
- 記載あり :意見趣旨が原案に記載されているもの
- その他 :計画に関係のない個別の取組み等への要望・提案や質問など

(1) 原案からの修正点

意見を踏まえた修正点は以下のとおりです。（同趣旨の修正意見は1つにまとめています）

修正意見要旨	修正内容
用語集の用語に該当ページが書いてあるとわかりやすい。また、本編中の用語にも、用語集に載っていることがわかるような記載があるとよい。	[以下のとおり修正] 用語集に該当ページを記載するとともに、本文中にも該当する用語に記号(*)を付記(初出のみ)
生物多様性の損失の具体例があるとイメージしやすい。	[15頁を以下のとおり修正] 「 <u>博多湾のアサリや、春の風物詩である室見川のシロウ才の漁獲量が減少しているほか、豊かな命を育む里地里山環境の消失や農地面積の減少などにより、生物多様性の損失が進行しています。</u> 」
35頁の文章について、「生物多様性への理解や～」の方がよいのではないか。	[35頁を以下のとおり修正] 「WEBサイトの充実を図り、生物多様性への理解や主体的な取組みを促進します。」
アスファルトの保水性舗装などを標準化するなど、気温の上昇を抑える努力が必要ではないか。	[60頁を以下のとおり修正] 「緑陰をつくる街路樹の整備や、屋上や壁面を含む緑化、 <u>路面温度を抑制する舗装の導入に向けた検討など、ヒートアイランド現象の緩和を図ります。</u> 」

(2) 全意見要旨と対応

① 計画総論

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
1	人口増加が進む福岡市において、市民一人ひとりの行動変容を軸にした様々な取組みは日本全体に大きな社会的インパクトをもたらすと思う。子どもたちの環境マインドを育むための教育の場を重視すること、また福岡市ならではの「水素リーダー都市プロジェクト」の推進などを通じてシビックプライドを一層高めていきながら、ESG 投資見直しの煽りを受けても頓挫しない本計画の着実な推進に期待している。	□記載あり 37 頁に記載のとおり、環境教育プログラムや教材の充実などを通して、子どもたちの環境意識を育むなど、環境教育・学習に取り組んでいくとともに、54 頁に記載のとおり、水素の社会実装に向けた取組みを推進するなど、都市の特性を踏まえ、着実に計画を推進してまいります。
2	12 頁では「国の第六次環境基本計画でウェルビーイングが最上位の目的に位置づけられた」と記載されていますが、23 頁記載の福岡市がめざすまちの姿では、考え方しか出てきません。国のスタンスを踏まえて、まちの姿、または行動指針に明確に書き込んでもよいのではないかでしょうか。	□原案どおり ウェルビーイングの向上は大変重要と認識しております、その概念について、多くの方に伝わりやすいものとなるよう、めざすまちの姿では「心豊かに」という言葉で表現しております。
3	福岡市が環境への取り組みを中長期的に進めていく姿勢には共感します。特に、再生可能エネルギーの導入やごみの削減など、若い世代の将来にも関わる重要なテーマが盛り込まれている点を評価します。ただ、計画全体がやや抽象的で、若者が具体的にどう関わればよいのか分かりづらいと感じました。もっと学生や若者が参加できるような取り組み(ワークショップや SNS 活用など)を明記してほしいです。若い世代の力を活かす視点を今後の施策に反映してほしいと思います。	□記載あり 福岡市の豊かな環境を将来世代へ引き継いでいくためには、未来を担う若者の視点を施策に取り入れることが重要と考えております。33 頁に記載のとおり、集客力を有するイベントとの連携や YouTube を用いたショート動画の配信などを通して、学生や若者をはじめ多くの市民が参加・実践しやすい取組みを推進してまいります。
4, 5	用語集の用語に該当ページが書いてあるとわかりやすい。また、本編中の用語にも、用語集に載っていることがわかるような記載があるとよい。	■修正 ご意見を踏まえ、用語集に該当ページを記載するとともに、本文中にも該当する用語に記号(*)を付記(初出のみ)しています。
6	第三次基本計画の各節各項の総合評価がなされているが、今回の第四次基本計画では各節の代表的な指標しか記載されておらず、大まかな方向性は確認できるが、各項においての目標が確認できないため、代表的なものでもいいので、各項の指標も記載されると、どの事業を今後どの程度注力していくのか分かりやすいと感じた。	□原案どおり 指標については、今後改定を予定している各部門別計画において本計画の方向性に沿ったより具体的な指標を設定し、環境基本計画・部門別計画をあわせ、総合的に進捗管理してまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
7	素晴らしい計画ですが、さらに新しいことに取り組むことで、各団体のさらなる負担増にならないようご配慮いただけることを願うばかりです。	□その他 計画の推進にあたっては、各団体の負担等に留意し、ご意見等を踏まえながら、適切に取り組んでまいります。
8	項目ごとに数多くのデータを示されており、より分かりやすい計画となっていると思います。	□その他 今後とも、市民や事業者の皆様にとってわかりやすく効果的な情報発信に取り組んでまいります。

②【行動変容】環境行動を実践するまちづくり

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
9	家庭で使いきれない食品を社会福祉施設などの団体に寄付する「フードドライブ」は、ごみを減らすこととお困りの人たちの福祉のためにもなってよい取組みだと思うので、持ち込める場所を増やすなどして進めてほしい。	□記載あり フードドライブについては、事業者等と連携し、市内のフードドライブ実施情報を発信するとともに、実施に必要な物品の貸し出しなどの支援を通じて、実施場所の拡大に取り組んでまいります。
10	日本の人口が減っていく中で、福岡市の人口は年々多くなっているからこそ、私たち福岡市に関わりのある人達が一人一人、意識を持って行動するべきである。電気の無駄遣いをしないことや、食品ロスを減らす、ゴミを減らすなど個人で出来ることはしっかりと行っていきたいと感じた。	□原案どおり 環境問題の解決に向けては、行政だけでなく、市民や事業者などあらゆる主体の行動変容が不可欠だと考えています。今後とも、市民一人ひとりの環境行動の促進につながる、効果的な施策や情報発信に努めてまいります。
11	未来を担う子どもたちの環境マインドの育成については、持続可能な社会の実現に非常に重要な視点だと思います。カリキュラム上の課題はあると思いますが、教育委員会と連携して、子どもたちの環境への関心を高めてもらいたいです。また、学校給食と授業をセットにして、教育の推進や食べ残しがゼロの取り組みを進めてもらえたたらと思います。	□原案どおり 子どもたちの環境マインドの育成については、教育委員会と連携し、小学校4年生を対象とした環境学習を行うとともに、小学校において食の資源循環を学び実践する場の提供など、体験を通じた環境意識の醸成に引き続き取り組んでまいります。
12	マイボトル利用促進という取り組みは認知していたが、給水スポットやマイボトル協力店制度については、あまり知らなかつたので、ホームページに掲載するだけではなく、機会を捉えたプッシュ型の情報発信なども行ってもらえると、より取り組みの効果が高まると思います。	□原案どおり 給水スポットやマイボトル協力店制度の認知度向上に向け、市のホームページやwebまっぷのほか、市民へ広く周知できるよう効果的な媒体による広報を検討してまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
13	消費行動の変容促進について、マイバッグやマイボトルの利用も、地産地消もエシカル消費のひとつだと思います。	<p>□原案どおり</p> <p>ご意見のとおり、マイバッグ・マイボトルの利用や地産地消もエシカル消費の一つと考えております。いずれも重要な取組みであることから、包括的なエシカル消費の取組みの記載に加え、マイバッグ・マイボトルの利用推進の取組み等についても個別に記載しております。</p>
14	多様な媒体や手法を活用した効果的な広報啓発として、市政だより等の紙媒体にとどまらず、SNS やショート動画などを活用した広報啓発に取り組む必要を示されたことは良いと思われる。(SNS のメリットとして、情報が拡散されやすく多くの人にリーチできるという点を生かすとともに、SNS で興味を持ったユーザーを HP に誘導し、より詳しい情報を提供するなど、多様なツールを効果的に活用していただきたい。)	<p>□記載あり</p> <p>様々な主体がアクセスしやすい広報啓発が重要であると考えており、36 頁に記載のとおり、SNS やショート動画をはじめ、多様なコンテンツを用いた効果的な広報啓発に取り組んでまいります。</p>
15	<p>私たちの生活に直結する環境問題については、大人だけでなく、これから社会を担う子どもたちにも学び、考えられるようにすることも重要であると思う。</p> <p>38 ページに記載されている「子どもたちの環境マインドの育成」に向けて、学校での体験活動だけでなく、ICT を活用し、オンラインを通じて、外部講師や企業の取り組みを学べたり自分たちにできることを知ることができたりする取り組みが充実するのではないかと思う。また、学習動画も充実すると、学習の中に取り入れやすく、日程調整や事前準備の負担軽減にもつながると思う。</p> <p>子どもたちに学校生活ができる取り組み、家庭生活ができる取り組み等を詳しく知ることでより理解が深まり、家庭で保護者に伝えることで大人への啓発にもつながるのではないかと考える。</p> <p>そのために取り組みについての学びの機会の周知の仕方も様々な工夫が考えられると思う。</p>	<p>□記載あり</p> <p>福岡市の豊かな環境を将来世代へ引き継いでいくためには、未来を担う子どもたちの環境マインドの育成や、学校等の活動が家庭や地域に広がっていくことが重要と考えております。37 頁に記載のとおり、ICT の活用等による環境教育プログラムや教材の充実などを通した環境教育の充実に努めてまいります。</p>
16	一方的に情報を発信するだけでなく、環境について育成ゲームのように(例えば、エコバックの利用やリサイクル等をすることにより、荒地から緑豊かな山に発展していくようなゲームなど)自分の行動でどのような効果・成果が出たかの見える化が図れたら実感が湧きやすく、取り組みやすい。	<p>□その他</p> <p>市民一人ひとりのライフスタイルの転換に向けては、啓発だけでなく、日常生活の中で楽しみながら行動してもらえるような取組みも重要と考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
17	記述の通り、学校教育は、子どもたちの環境マインドの基礎を育む重要な場である。本市は、一人一台端末でオンライン環境が整備されている。ICTの効果的な活用で、環境教育においても、学習者主体の学びをより深めていけると考える。	□記載あり 福岡市の豊かな環境を将来世代へ引き継いでいくためには、未来を担う子どもたちの環境マインドの育成が重要だと考えております。37頁に記載のとおり、ICTの活用等による環境教育プログラムや教材の充実などに努めてまいります。
18	未来を担う子どもたちの環境マインドの育成については、福岡市という、都市部と自然環境の調和がとれているという特性をいかし、子どもたち自身が、郷土愛や他都市との違いに気づいていくことが重要。より推進し、市の環境を守っていく担い手を育てる必要がある。	□記載あり 37頁に記載のとおり、福岡市の豊かな自然環境や、市有施設を活用した環境教育カリキュラムの充実などを通して、未来を担う子どもたちの環境マインドの育成に取り組んでまいります。
19	人々が選ぶものが自然に環境に配慮している状況になるようにするにはどうしたらよいかについて、節約やエコのように、他の要素(消費者がプラスイメージがあるもの)と掛け合わせた場合、手が自然とのびるだけではなく、自分にとつても、環境にとっても嬉しいというwin-winな行動になると思いました。そして、エコのマイナスのイメージに関しても、緩和されるのではないかと思いました。	□記載あり 市民一人ひとりのライフスタイルの転換に向けては、24頁に記載のとおり、節約など暮らしのメリットの紹介や、日常生活の中で楽しみながら実践できるような取組みも重要だと考えております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

③【事業者連携】環境経営を実践するまちづくり

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
20	私は「環境に配慮した活動を行う企業が増えてきていると思う市民の割合」はまだまだ上げることができると考えています。 私は商品選びに迷った際、金額だけでなく、その商品の製造工程や付加価値なども見るようになっています。 福岡市には脱炭素経営や商品の製造工程にこだわった企業が沢山ある一方で、中々知る機会が少ないと感じています。 今もされているかもしれません、市のホームページや小売店などでこうした企業を紹介する機会を増やして貰えたら嬉しいです。	□原案どおり 福岡市のホームページに、中小企業の脱炭素化の事例や、脱炭素経営に資するセミナー動画等を掲載しています。今後とも、脱炭素をビジネスチャンスと捉え、カーボンニュートラルに取組む中小企業の販路拡大など、脱炭素経営の支援に取り組んでまいります。

④【脱炭素】カーボンニュートラルを実装したまちづくり

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
21	公共交通の利便性向上やパーク・アンド・ライドの推進など、環境負荷の少ない移動手段の整備が進められている点が評価できます。子供連れでも利用しやすい交通環境（例：ベビーカー対応、乗降サポート）への配慮を施策に明記すると、より包括的な交通施策となると思います。	□原案どおり 本計画では、環境面からの交通施策について記載しており、包括的な交通施策としては、「福岡市都市交通基本計画」において、「誰もが安全・安心な交通環境づくり」という方針を掲げております。関係局と連携し、今後とも、ユニバーサルデザインの理念に基づき、各種施策の推進に努めてまいります。
22	再生可能エネルギーの利用拡大において太陽光や蓄電池等の導入を促進していますが、設置後のメンテナンスや廃棄費用の問題についての対策がなされておらず、導入への足かせになっている方も多いと思われます。 導入後のフォローとして、例えば、廃棄費用の補助やリサイクルの仕組みの構築が必要と思われます。 FIT制度も改悪化する中で再生可能エネルギーのコストパフォーマンスを上げるためにも蓄電池との併用やペロブスカイト太陽電池等の耐久性の向上が重要になってくると思います。	□記載あり 太陽光パネルのリサイクル等については、69頁に記載のとおり、国の動向等を踏まえながら、適正処理の確保やリサイクルの推進に努めてまいります。 また、再生可能エネルギーを最大限活用していくためには、蓄電池の導入やペロブスカイト太陽電池の実装などに率先して取り組んでいくことが重要と考えおり、54頁に記載のとおり、再生可能エネルギーの導入拡大や効率的な利用に向けた取組みを進めてまいります。
23	夏でも涼しく遊べるような日陰の多い公園があると嬉しいです。	□その他 公園内の日陰の確保については、樹木による緑陰の創出を基本として、必要に応じて、日陰棚等を設置しております。 今後とも、快適で過ごしやすい公園整備に努めてまいります。
24	電気自動車に使われるリチウム電池や太陽光発電パネル設置による環境破壊は近年問題となっているところも多いように思います。 その中でこの2点を推進することが正しいのか、それらの推進に使用予定の予算を用いて、新たな技術革新（核融合発電、水素自動車等）に将来を見据えて投資するのが良いのか、そのような考えが福岡市はないのか、教えていただけたと幸いです。	□記載あり 福岡市が掲げるチャレンジ目標「2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」の実現に向けては、既存の取組みや技術を活用するだけでなく、46頁に記載のとおり、脱炭素関連の先進技術の創出や社会実装にも率先して取り組んでいくことが重要と考えており、今後とも先進技術の動向等を常に把握し、取組みを進めてまいります。
25	夏の外出が危険な暑さになっており、子供達の夏休みが昔とは一変していると感じています。温暖化対策に特に注力していただきたいです。	□原案どおり 地球温暖化対策の推進にあたっては、省エネルギー化の推進や再生可能エネルギーの利用拡大など、温室効果ガスの排出削減を図る「緩和策」と、熱中症対策など、気候変動による被害を最小限に抑える「適応策」の両面から取組みを推進してまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
26	<p>近年、最高気温の更新やゲリラ豪雨が頻回するなど、地球温暖化の進行を実感しており、その対策は喫緊の課題と思います。</p> <p>対策にあたっては、中長期的な取り組みが必要で、また、取り組みにあたっては、官学民の連携が重要だと考えます。</p> <p>まずは、行政がしっかりと旗振りし、社会全体で温暖化対策への機運醸成を図ること。次に、民間企業の力を借りながら共同で取り組みを進めること。最後に、市民一人ひとりの行動変容も重要であり、義務教育過程からの脱炭素社会の実現に向けた教育を義務化すべきだと考えます。</p>	<p>□原案どおり</p> <p>「2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」のチャレンジ目標実現に向けては、市役所が率先して、脱炭素の取組みを進めていくとともに、省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入拡大、脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換などを市民・事業者等と一緒に取組みを推進してまいります。</p> <p>また、学校においても、環境教育や活動の推進に、一層努めてまいります。</p>
27	<p>市が整備する道路についてアスファルトの保水性舗装を標準化などとし、気温の上昇を抑える努力が必要ではないか。</p>	<p>■修正</p> <p>道路整備については、保水性舗装など、路面温度を抑制する舗装の導入に向けた検討に取り組むこととしており、ご意見を踏まえ、60頁に以下の文言を追加します。</p> <p>「緑陰を作る街路樹の整備や、屋上や壁面を含む緑化、<u>路面温度を抑制する舗装の導入に向けた検討</u>など、ヒートアイランド現象の緩和を図ります。」</p>
28	<p>カーボンニュートラルの取り組みについて、国の目標を上回る2040年度実質ゼロの目標は素晴らしいと思います。ペロブスカイトなど新たな技術にも着目してあり、市民・事業者など多くの主体を巻き込んでどんどん進めてほしいです。</p>	<p>□原案どおり</p> <p>脱炭素社会の実現に向けて、今後とも、市民・事業者等と連携を図りながら、先進技術の社会実装に取り組んでまいります。</p>
29	<p>ペロブスカイト太陽電池について、現段階では不可能かもしれませんのが、福岡市の中小企業と協力して、将来的に日傘やブラインドなどに応用できないか検討してみてほしいです。</p> <p>私は今大学生なのですが、体感で5~7割程度の人が日傘を利用している印象です。そこでペロブスカイト太陽電池を日傘に取り付けて、ハンディファンを接続させたり、貯めた電力でスマートフォンを充電できるようになれば、若い世代にも環境問題に取り組んでもらいやすくなると思います。</p> <p>また、ブラインドに利用できれば遮光や防犯にも役立てるかと思います。福岡市には賃貸の建物が多いと思うので簡単に取り外してできるペロブスカイト太陽電池のブラインドがあれば多くの人が利用してくれるのではないかと思います。検討お願いします。</p>	<p>□その他</p> <p>46頁に記載のとおり、今後とも脱炭素関連のイノベーションの創出・社会実装に率先して取り組んでまいります。いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>

⑤【循環経済】地球にやさしい循環のまちづくり

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
30	<p>小学生の子どもの授業参観で、雑紙のリサイクル方法について教えていただきました。それをきっかけに、我が家でも雑紙のリサイクルに取り組むようになりました。習慣化してしまえば意外と簡単で、何より可燃ごみが減るので経済的にも家計にやさしく、他のご家庭にもぜひおすすめしたい取り組みです。</p> <p>ただ、雑紙のリサイクルを始めて気づいたのは、学校から配られる紙の多さです。我が家には子どもが3人いるため、同じチラシが3枚ずつ届きます。特に夏休み前は量が多く、見終わったらすぐに雑紙入れに入れるようにしています。</p> <p>これらの宣伝チラシは、すべてフルカラーで上質な紙が使われていて、もったいない感じることもあります。こうした配布物を、もう少しペーパーレス化できないものでしょうか。</p>	<p>□その他</p> <p>学校では、配付物をデジタル化し、メールやホームページを活用して送信する取組みを進めています。</p> <p>また、学校には、企業や各種団体から、イベント等の周知依頼がありますが、教育委員会の後援事業に限ってチラシを配付する等の工夫をしているところです。</p> <p>今後とも、より一層ペーパーレス化に努めてまいります。</p>
31	<p>最近、ある量販店に「衣類のリサイクルボックス」が設置されていることに気づき、後日捨てる予定だった服を持ち込みました。子どもの服など、どうしても時期がくると不要になる物はあるため、このように身近なところに各種リサイクルボックスがあると、自然と捨てるものが減るよう思います。福岡市が、より3Rを実行しやすい街になるとうれしいです。</p>	<p>□その他</p> <p>福岡市では、公共施設に資源物回収ボックスを設置し、多様な資源物の回収を進めています。また、3Rステーションでの衣類等の不要品のリユースに加え、市ホームページ等で民間のリユース協力事業者を紹介しているところであり、引き続き市民が3Rに取り組みやすい環境づくりに努めてまいります。</p>
32	<p>プラスチックの収集について、店舗におけるトレー回収等のように、一部でもいいのでリサイクルボックスで回収してもらえると家庭から出るごみの量が減って助かる。</p>	<p>□記載あり</p> <p>プラスチックの分別につきましては、64頁に記載のとおり、令和9年2月の導入開始に向けて準備を進めております。製品プラスチック(容器包装プラスチックは除く)については、市内9か所の資源物回収ボックスにおいて、年間を通して回収を行っております(※年末年始を除く)。</p>
33	<p>プラスチックの分別収集が始まることは知りませんでした。以前住んでいた市では分別されていたので特に抵抗はないですが、周知が必要だと思います。また、ペットボトルの分別がどうなるか教えて頂きたいです。</p>	<p>□その他</p> <p>ご意見のとおり、分別開始に向け、分別の意義やルール等の周知が重要だと考えておりますので、丁寧な広報啓発に努めてまいります。また、ペットボトルの分別につきましては、これまでと同様に「空きびん・ペットボトル」として分別をしていたことになります。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
34	コミュニティガーデンが市内各所にあって、市民が誰でも野菜などを育てられるような環境があると良いと思います。	<p><input type="checkbox"/>記載あり</p> <p>福岡市では、生ごみの堆肥化を促進する施策として、66 頁に記載のとおり、家庭での生ごみ堆肥化容器（コンポスト）の購入補助や市民向け講座の実施、都市部における事業者によるコミュニティガーデンの開設支援などを通して、引き続き市民や事業者の行動変容を促し、ごみの減量に取り組んでまいります。</p>
35	リサイクルボックスを利用して、ごみを減らす努力をする市民に対して、ポイント還元するなどの施策が必要ではないか。	<p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>実践行動に対するポイント付与については、ECO チャレンジ応援事業などに取り組んでいるところですが、引き続き、こうした市民の身近な実践行動を促進する仕組みについて検討してまいります。</p>
36	循環型社会の実現に向けて、市民の理解や行動定着には工夫が必要かもしれません、紙ごみに加えて、プラスチックごみの分別も進めてほしいです。	<p><input type="checkbox"/>記載あり</p> <p>プラスチックの分別につきましては、64 頁に記載のとおり、令和9年2月の導入開始に向けて準備を進めております。</p>

⑥ 【生物多様性】多様性にあふれた自然共生のまちづくり

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
37	生物多様性の保全・回復・創出が取り組みの中で魅力的だと感じた。福岡市はただ都会などではなく自然も多いため、生物の保全は大切な取り組みであると思うので、私たち自身も周りの環境を汚染しないような取り組みをしていきたい。	<p><input type="checkbox"/>記載あり</p> <p>生物多様性の保全・回復・創出に向けては、行政だけでなく、市民や事業者などあらゆる主体の行動変容が不可欠だと考えています。今後とも、市民一人ひとりが生物多様性を理解し、行動につなげられるよう効果的な施策や情報発信に努めてまいります。</p>
38	「生物多様性ふくおかセンター」の開設により、子供から大人まで楽しく学べる WEB コンテンツが提供されている点が評価できます。学校や地域団体と連携した「こども環境会議」や「こどもエコ大使制度」の導入により、体験と実践を通じた学びが深まると思いました。	<p><input type="checkbox"/>原案どおり</p> <p>生物多様性の重要性を社会に浸透させ行動につなげるためには、学校や地域団体との連携は大変重要と考えています。いただいたご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
39	渡り鳥にとって重要な博多湾東部(和白干潟と多々良川河口)は国指定鳥獣保護区になっている。ここを国指定鳥獣保護区の特別保護地区に指定して、ラムサール条約登録湿地にするよう計画し、将来に渡って開発の心配がないように保全していただきたい。	<p>□原案どおり</p> <p>国指定鳥獣保護区に指定されている和白干潟及び多々良川河口、県指定鳥獣保護区に指定されている和白干潟周辺地域は「30by30」の対象に含まれています。</p> <p>和白干潟については、貴重な自然や景観を東区の魅力として、ホームページやSNS、市政だよりなどで情報発信しています。</p> <p>博多湾東部(和白・多々良)を含む干潟の保全は大変重要と考えており、76頁に記載のとおり、引き続き、多様な主体と連携・共働し、干潟保全活動に取り組んでまいります。</p>
40	和白干潟やその周辺を「30by30(サーティ・バイ・サーティ)」に登録し、保全していただきたい。	
41	和白干潟周辺では近年、地震以外の災害もほとんど起こっていない。災害に備えた環境整備として、国内に2か所しかない貴重な自然海岸のある和白干潟の自然を破壊することの無いようお願いしたい。	
42	西区の今津干潟が「西区の宝」とされていることは喜ばしいが、東区の和白干潟も同様に「東区の宝」として位置づける価値が十分にある。ぜひ和白干潟を「東区の宝」として、長期的かつ制度的な保全策の策定をしていただきたい。	<p>※30by30 : 2030(令和12)年までに、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標。2022年(令和4年)12月の「昆明・モントリオール生物多様性枠組」に盛り込まれた2030年グローバルターゲットの一つ。</p>
43	生物多様性について、簡単に説明はされていますが、より具体的に生活と繋がっていて、身近にあるということが理解できないと、心の潤いや文化につながるということが、簡単にイメージできないかもしれませんと思いました。	<p>■修正</p> <p>ご意見を踏まえ、15頁に生物多様性がもたらす食の恵みとその現状の具体例を以下のとおり追記します。</p>
44～46	生物多様性の損失の具体例があるとイメージしやすい。	<p>「博多湾のアサリや、春の風物詩である室見川のシロウオの漁獲量が減少しているほか、」</p>
47	市内を流れる瑞梅寺川・室見川・樋井川・那珂川・御笠川・多々良川等のもつ生物多様性を充分に生かした川づくりを進めてほしい。	<p>□記載あり</p> <p>ご意見のとおり、大きな河川から、中小の河川を含めた様々な地域や生息・生育環境に応じた生物多様性の保全等の取組みが重要と認識しております。</p>
48	川とその空間を生きものの移動場所として大切にする取組みを進めてほしい。	<p>76頁に記載のとおり、多自然川づくりにより、多様な生きものの生育環境や水質の保全などを図り、自然豊かな河川の形成に取り組んでまいります。</p> <p>※多自然川づくり：河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出すること</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
49	35 頁の1つ目の文章について、生物多様性の理解や主体的な取組みを推進しますとあります、「WEB サイトの充実を図り」という手段が前にあるので、「生物多様性への理解や～」の方がよいのではないでしょうか。	<p>■修正</p> <p>ご意見を踏まえ、「生物多様性への理解や～」に修正します。</p>
50	植生のページ含め、竹についての情報がありませんが、福岡では放置竹林等の問題はないでしょうか。山口や北九州、鹿児島などでは自治体を中心とした竹の再利用に注目した取り組みが始まっています。福岡市としてそのような取り組みはありますか。	<p>□その他</p> <p>福岡市の森林でも竹の侵入などが一部見られ、県の事業を活用し、荒廃森林の整備を行っています。竹の再利用の取組みは行っておりませんが、いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
51	<p>「自然資本の価値を認識し、豊かな自然や生きものとふれあう体験やエコツーリズムなどが盛んになっています」という部分について、取り上げます。この部分に対しての施策にエコツーリズムの観光業での取組みも記載していただくとより良いのではという印象を受けました。</p> <p>コロナ終息後のアジアからの観光客の増加を環境保全へと繋げていけば、環境都市として大きく日本の環境問題に貢献できるのではないかと考えます。</p> <p>都市と自然との共生を理由に福岡は住みよい街として挙げられますが、まさにその多様な自然を観光客向けにアピールすることで、インバウンド需要を地方でも享受することができ地域活性化につながるのではないかと考えました。</p> <p>福岡の観光地としての魅力をエコツーリズムでさらに地方へ拡大していければ、「福岡市」という観光地から、「福岡県」という観光地に変化していくのではないかと期待しています。</p>	<p>□記載あり</p> <p>45 頁に記載のとおり、海辺を活かした観光振興に取り組むなど、自然の保護と利用の好循環を図ることとしており、いただいたご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>

⑦ 【生活環境】安全で良質な生活環境のまちづくり

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
52	街中にゴミ箱の設置が複数あると、ポイ捨てなどが減り、街全体が綺麗になると思います。	<p>□その他</p> <p>環境美化については、ごみのポイ捨て防止啓発などにより推進してまいります。</p>

⑧【広域連携】九州・アジアとつながる環境協力のまちづくり

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
53	<p>九州・アジアとつながる環境協力のまちづくりの一環で、廃棄物は福岡方式を取り入れることで協力体制がありますが、海洋のプラスチックごみに対しては、アジアの国々との具体的な取り組みはあるのでしょうか。</p> <p>市内の取り組みではラブアース・クリーンアップなどの取り組みが挙げられていますが、実際の海洋ゴミの多くは他国から流れ込んでいるものも多いと思います。そのような連携の事例もあると教えていただけますと幸いです。</p>	<p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>他国との連携事例については、国等が主催する海外と連携した清掃イベントに参加しております。そのような取組みも含め、引き続き、国や県と連携を図りながら、ラブアース・クリーンアップ等の清掃活動を通じた啓発などに取り組んでまいります。</p>

⑨ その他

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
54	<p>24、25 頁の市民、事業者が取り組む行動例について、市民の行動例では経済的メリットが強調されていますが、経済的合理性で行動するのではなく事業者のような気がします。</p>	<p><input type="checkbox"/>原案どおり</p> <p>事業者の業種や規模など様々で、一律に経済効果をお示しすることが難しいことから、取組みの概要について記載しております。今後とも、事業者の環境経営を促進する効果的な施策や情報提供等に努めてまいります。</p>
55	<p>学校や市民団体などの取り組みなどをさらに具体的に示すと、イメージしやすくなると思いました。</p>	<p><input type="checkbox"/>記載あり</p> <p>詳細な学校や市民団体の役割や取組み例については、91 頁に記載しております。今後とも各主体と連携・共働し、計画を推進してまいります。</p>